

決 算 報 告 書

自 令和 2年 7月 1日

至 令和 3年 6月 30日

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会

貸借対照表

(単位：円)

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会

令和 3年 6月30日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	11,902,823	【流動負債】	4,065,626
現金及び預金	8,345,079	前受会費等	1,969,250
前払金	274,870	前受金その他	270,000
未収入金	20,000	仮受金	57,000
前払費用	9,780	預り金	1,766,416
その他流動資産	3,253,094	書類頒布経費(送料等)	2,960
【固定資産】	10	負債の部計	4,065,626
(有形固定資産)	10	正味財産の部	
器具備品	10	【正味財産】	7,837,207
		正味財産	5,909,832
		当期正味財産増加額	1,927,375
		正味財産の部計	7,837,207
資産の部計	11,902,833	負債・正味財産の部	11,902,833

損益計算書

(単位：円)

自 令和 2年 7月 1日

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会

至 令和 3年 6月30日

科 目	金 額	金 額
【入 会 金 収 入】		16,000
【会 費 収 入】		
一 般 会 費 収 入	5,978,750	
学 生 会 費 収 入	14,000	
賛 助 会 費 収 入	470,000	6,462,750
【事 業 収 入】		
書 籍 頒 布	101,500	
購 読 サービス 会 費	173,750	
協 会 誌 収 入	69,000	344,250
【雑 収 入】		863
収 益 合 計		6,823,863
【事 業 費】		3,156,301
【管 理 費】		1,740,187
費 用 合 計		4,896,488
当 期 正 味 財 産 増 加 額		1,927,375

事業費・管理費内訳書

(単位：円)

自 令和 2年 7月 1日

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会

至 令和 3年 6月30日

科 目	金 額	
【事業費】		
協会誌編集・発行費	3,092,193	
活 動 費	47,070	
広 報 媒 体 経 費	17,038	3,156,301
【管理費】		
公認会計士顧問料	264,000	
会 費 ・ 参 加 費	158,860	
交 通 費	123,140	
通 信 運 搬 費	96,582	
事 務 用 品 費	20,795	
印 刷 費	46,403	
事務局備品リース料	26,136	
管 理 委 託 費	71,971	
事 務 委 託 費	720,000	
支 払 手 数 料	22,269	
収 納 代 行 手 数 料	179,481	
そ の 他 手 数 料	10,550	1,740,187
事業費及び管理費		4,896,488

2021年(令和3年)7月31日

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会
会長 桂 律也 様

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会
2020年度(令和2年度)監査報告書

私たち監事は、当協会定款第60条の規定に基づき2020事業年度(2020年7月1日より2021年6月30日まで)の監査を実施したので、その方法および結果について以下の通り報告します。

1. 監査の方法および内容

各監事は、理事および事務局長と意思疎通を図り、オンライン形式となった理事会に出席して事業報告を受けたほか、会計帳簿ならびに決算書類につき閲覧調査しました。

2. 監査結果

- 1) 業務執行状況について監査した結果、理事の職務は法令および当会の諸規定に則り執行されたことを確認しました。新型コロナウイルス感染症の影響は引き続き大きく、主要事業を含め年度内に実施できなかったイベントがありました。
- 2) 決算報告書、証拠書類等について監査した結果、本会の財産は適正に管理されていたものと認めます。

3. 付帯意見

- 1) 主要事業であるリハ工学カンファレンスや福祉機器コンテストが延期を余儀なくされる中、次年度実施に向け準備段階からオンライン形式で打合せやプレイベントを実施するなど、関係各位の努力が継続されています。
- 2) 2年連続で単年度黒字となりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による事業費支出減とシステム改善等による管理費削減効果の両方の要素があります。次年度以降も油断せず計画的な事業実施をお願いします。
- 3) SIGを法人組織にする取組みが年度内に完了しなかったことは残念でした。人口減少社会やコロナ禍にあって地域支部やSIGの活動はさらに重要になってきています。活動基盤整備への理事会の精力的な取組みと幅広い会員の積極的な参画に期待します。
- 4) 事業継続性をさらに強固にするため、事務局体制の強化を含めた検討を引き続きご検討願います。

監事 伊藤 和幸 印

監事 赤澤 康史 印